

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者） 衣料品専門店（経営者） 観光型ホテル（スタッフ）	- ・サッカーワールドカップの予選も始まるので、多少は良くなる。 ・来客数の動きを見ていると、天候に左右されてはいるものの、客の心理の中に少しは景気が良くなってきて、年金問題が少しずつ改善されており、将来不安が少しは改善されているような雰囲気も出てきている。 ・予約状況が良くなりつつある。
	変わらない	商店街（代表者） 商店街（代表者） 商店街（代表者） 一般小売店〔茶〕（経営者） 一般小売店〔書籍〕（経営者） 百貨店（売場主任） 百貨店（企画担当） 百貨店（広報担当） 百貨店（売場担当） 百貨店（販促担当） スーパー（経営者） スーパー（店長） スーパー（総務担当）	・年末の市中の動きがほとんど見られない。当地在住の客が少なく、遠方の客が一定量来店する状態である。当地を中心とした景況感が低下しているのが明確に分かる。 ・「変わらない」を選択したのは良くはならないという意味で、今までどおりいまだに悪いことを言いたい。近隣の店でもボーナスを出せる店はほとんど皆無と言ってよい状態。年金問題、イラク派兵問題、身近では競合大型店の開店など小売店にとっては消費の前途は非常に暗い。 ・全体の景気は、全国的には緩やかに上向いていると言われているが、地方経済においては、一部の製造業に限られており、全体的には良くなる気配や要因が見当たらない。個人消費の問題では、年金の不安や雇用の不安が払拭されなければ個人消費は回復しない。 ・安物買いをしながら、高級ブランド品を通販で購入する人も多く、不況といながらも高級指向は定着している。 ・建築会社などの住宅はかなり厳しいという話であるが、自分の持ち物や衣類などについては多少財布のひもが緩みだしている。 ・この正月は元旦も営業し、売上のマイナスを少しでもカバーする予定である。 ・これからは、初売りやクリアランスなど来店機会が増え、入店客数も増えると思うが、買い物自体はシビアな状態が続く。 ・初売りの状況やヒット商品が生まれていない冬物衣料の状況の中で、クリアランスがどう推移するかを見れば、消費意欲の根底の部分が回復しているかを判断できる。 ・販売する側の、景気が悪いという意識を払拭し、積極的な販売活動を行うことによっても消費は活発化する。 ・2～3か月先は人の動く時期で個人消費はある程度動くと考えられるが、期末、年度末に向けて企業が消費抑制に動くと考えられ、このバランス次第ではあるが、慎重な消費行動に変わりはない。 ・賞与が出て、年末に向け支出も増えるが、公的負担が多く、消費を控える傾向も出てきており、クリスマスセール単価も低く設定している。 ・これからの歳暮商戦は、目減りが予想されるものの、クリスマス商戦や冬のクリアランスセールに期待できる。 ・一部には、今年末の賞与が増えるという話題もあるが、基本的に当社の扱う一般食料品はそうした傾向に影響されず、消費動向は今後とも堅調に推移し、あまり景気動向に消費が左右される環境はない。一部に耐久消費財やテレビなどの新規需要は発生しても、一般食料品は現状から大きな振れも無く推移する。 ・当店を取り巻く競合状況は変わらず、低価格政策は依然続くため、景気は横ばいと推測している。 ・先々月に比べ、先月はやや上向き加減であったが、今月は横ばいである。セール単価が安かったため一品単価が低下したものの買上点数でカバーしている。この状況は暖冬も含め当分続く。 ・一部に倒産する企業も出ており、また若年層の雇用が回復しておらず、年末の買上点数が伸びないかもしれないという懸念がある。

コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて期待はしているが、天候の状況や年金、政局問題などの不安要因で財布のひもは依然として固いと予想している。こういった中であっても活路を見出さなければならぬが、明るい兆しが見えないため、変わらない。	
乗用車販売店（経営者）	・消費税駆け込み需要から7年、台替期待のユーザーからの買い替えは依然慎重で販売は伸びない。 ・競合も激しく、値引きに頼る傾向であるが、今後、最大需要期を迎えるに当たり、低金利クレジットのPR効果も出始めており、横ばい程度の売上は期待している。	
その他専門店〔酒〕（経営者）	・少し調子が良くなってきており、今後何か大きなことで崩れないことを期待している。 ・当社が好調な反面、廃業や倒産する同業他社や、大手のライバルでも倒産するところが出てきており、勝敗が明確になってきている。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・地域経済が冷え込んでいて回復が遅れている。燃料販売も価格競争が激しく粗利の確保が困難な状況である。	
高級レストラン（支配人）	・宿泊の予約は、昨年同日比でほぼ同件数であり、宿泊は昨年並みである。 ・宴会は、直近2～3か月後の婚礼件数がほぼ前年並みを確保できている。 ・レストランは、プレステージレストランの予約状況が前年並みを確保している。	
観光型旅館（経営者）	・地震と冷夏の影響を心配したものの、小規模クラスの旅館では宴会などもやや前年並みに持ち直している。しかし大規模旅館では苦戦しているようである。今後どうなるかは分からないが、当面は上下変動は無い。	
都市型ホテル（経営者）	・レストランの夜の顧客数が減少しており、個人消費の回復の兆しが見えない。イベントを企画しないと売上が減少するのみである。 ・近々、新規参入や同業他社に対抗すべく館外を一部改装する。今後急激な景気回復が望めないとすれば、生き残るため企業自身が前向きに、設備投資や適正人員の見直し、質の向上などの努力が必要となる。	
都市型ホテル（スタッフ）	・消費が低迷しているため、生産する側も生産能力を縮小せざるを得ず、生産に携わる人員の削減であり、当然少数精鋭が要求される。施設、料理、サービスが一体となって対応すべきであるが、少数精鋭部隊になってもサービスが低下しないような工夫が必要となる。	
遊園地（経営者）	・賞与の水準や冬季の天候などで変動すると思うが、基調は変わらず、前年をキープできればまずまずである。	
住宅販売会社（従業員）	・前月までとの比較において、どの項目においても変動の兆しを感じられない。	
やや悪くなる	スーパー（店長）	・農家の収入減、公務員の賞与削減など、ますます消費への影響が懸念される。 ・野菜の相場安、競合店対策のチラシ増加による1品単価の下落など、売上にマイナスの要因ばかりで、年間最大売上月である12月の売上確保は厳しいと見ている。
スーパー（店長）	・開店、改装が続き、市内はオーバーストアの状態である。単価低下もあり、これは今後も続く。	
スーパー（企画担当）	・12月以降も、価格競争は一層激しくなることが予測され、合わせて営業時間拡大、元旦営業も含む休日削減は続くが、客数の維持はできても売上面では難しい。	
その他飲食〔そば〕（経営者）	・近くの居酒屋が改装中の張り紙を出したまま閉店してしまい、通りの活気がなくなっている。貸しビルの空室も埋まる様子がなく、オフィス人口が減少している。	
観光型ホテル（経営者）	・年内は忘年会というイベントで多少望めるが、新年に入ってからの入込については、例年の還暦などの人生の節目の行事などばかりで企業の新年会などは望めない。また地震の後遺症と農家の不況で、県内の宿泊業界はどこも厳しい。	
観光型旅館（経営者）	・予約状況は1月はまあまあだが2月は良くない。企画募集等の最終人数が読み難く、仮予約が前年より少ないのが気になる。	
都市型ホテル（経営者）	・2～3か月後は新年会、送別会の時期。新年会については、ほぼ例年並みだが、送別会については、全体として規模を縮小して行う傾向があるので、やや悪くなる。	

		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊部門は、インターネットに低料金を提供すれば稼働率が上がるが、それは適正とはいえない。しかしそれは今後も続く。
		住宅販売会社（経営者）	・展示場来場者数はそこそこであるが、来年度以降は住宅ローン減税が延長されないため、こここのところの住宅ローン減税の影響が感じられる。
	悪くなる	スーパー（経営者）	・客数は増加傾向であるが、販売個数と販売単価が依然として下落傾向にあり、この傾向は当分このままで、来年4月になれば若干改善すると見ている。
		タクシー運転手	・現在の状況はみんなが金が無くて困っている。金銭苦で自殺未遂をした同僚が寝たきりになっている。金を稼がなくてはならないが、客がいない状態で試行錯誤している。これから年末を迎えるにも大変である。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・今年の12月頃から医療機関連が増加傾向にあり、一時的かも知れないが年度末まで内示が出ている。しかし情報端末については変化が見られない。取引先では加工部品の受注が活発になっている。
		経営コンサルタント	・製造業では、仕事量の増加に応じた利益を出す仕組みを考えているが、近い将来その効果が出ることを期待している。
	変わらない	輸送業（従業員）	・IT関連企業やヒット商品を扱う企業の輸出入数量が見込まれるが低価格競争が激しく利益増につながらない。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・業種によって良くなっているものもあるが、漁業中心の当地では、秋のサンマの漁価安が響いており、収入減となり財布のひもをしめている人が多い。 ・当地方最大手のスーパーが、業界紙の購読を本社の指示でストップしている。
		司法書士	・新幹線八戸開業で、観光地は客足が伸びているが、求人動向に反映されるに至っていない。
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・海外品流入が依然続いており、スーパーの衣料に押され、デパートや専門店の売上不振が続いている。国内消費の高品質、中価格帯を狙うすみ分けがますます難しくなっている。
		木材木製品製造業（経営者）	・住宅減税に伴う部材などの駆け込み需要もあり、販売量も一定量を確保できたが、来年以降は需要がやや減少する見通しである。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・当社は、輸出が売上の30%近くを占めており、今の為替レートがこの水準で推移するとなると、採算レートが悪くなり、引いては経営全般に大きな影響を与えることになる。
	悪くなる	農林水産業（従業者）	・今年の夏の天候不順で、桃の収入が前年比40%程度である。この周辺の農家は桃の収入が全体の6～7割を占めているため、今後大きく影響が出てくる。
	食料品製造業（経営者）	・大手企業がリストラ効果で業績が好転した反面、そのしわ寄せで中小企業の経営が相当厳しくなっている。 ・米の不作により農家経営が厳しくなったことにより県内の個人消費が冷え込んでおり、特に飲食業は相当な打撃を受けている。	
	食料品製造業（総務担当）	・11月がこのような状態で、2～3か月後が良くなるとは思えない。 ・生産面では、酒造用米の品不足、価格高騰が原価に影響を及ぼす。	
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・製造への直接的な派遣は法律で制限されているが、設計や仕様書作成、または内勤的な事務作業などの増員や引き合いは、今年度中は続く。
		人材派遣会社（社員）	・工場内への派遣が、派遣法の改正により可能となるため、業界として追い風となる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人については、ここ暫く下げ止まっている感があり、この傾向は今後も続く。
		職業安定所（職員）	・パート就職が増加しているが、常用希望者がやむを得ずパート求人に応募し採用となっているケースが増えている。
		職業安定所（職員）	・製造業の一部の企業では生産が上向いているが、生産見込みは2～3か月程度の短期のものであり、シフトの組み替えや残業で対応している結果、雇用量の増加につながっても臨時、パート、アウトソーシング程度である。
		職業安定所（職員）	・企業整備による解雇者がかなり出ており、新規求職者数が前月に続き伸びているのが気にかかる。

	職業安定所（職員）	・求人数については、量的には増加傾向で推移しているが、内容や質などから就職者数の伸びにはなかなか結び付かない。
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・全国的にはやや回復傾向といわれているが、当圏ではそんなことはなく、メイン業種である流通業などでは先行き不安のため求人を抑えるという話が出ているため、まだまだいい状況にはなっていない。
	職業安定所（職員）	・競馬場が廃止になり、大量の離職者が発生し、減少傾向にあった求職者が増加する見通しである。
悪くなる	アウトソーシング企業 （社員）	・予算が厳しい市町村の中で、高品質は維持して欲しいと要求されるが、当然手間ひまもかかり料金的に高くなるが、それを理解してもらえず厳しい状況になる。